

五輪おもてなし 活動をサポート

県学校農業クに支援金

J A岐阜信連

J A岐阜信連は、県内の七つの農業関連学科設置高校でつくる県学校農業クラブ連盟に支援金310万円を交付した。21日に岐阜市宇佐南のJ A会館で交付式があり、櫻井宏経営管理委員長が同連盟の谷口裕也会長(18)に加茂農林高3年IIに目録を手渡した。同連盟には農業高校などの生徒約2900人が所属。東京五輪・パラリンピ

ックに向けて、おもてなしの一環として、岐阜にゆかりのあるヒョウタンを用いたイルミネーションの設置に各地で取り組んでいる。今月16日には、五輪会場にほど近い日本青年館(東京都)の正面玄関前に、縦約2.5メートル、横約5.5メートルのイルミネーションを設置。各校で栽培・収穫・加工したヒョウタンのランプと美濃和紙のちようちんを装飾した。9月5日まで飾られるという。交付式では、櫻井会長が「次世代の農業を担う皆さんが、このプロジェクトを経てより多くの経験を積み、さらに大きく成長してほしい」とあいさつ。谷口会長は「五輪の延期やコロナ禍で不安な時期もあったが、ようやく皆の思いを実現できて良かった」と話した。(武藤直子)



谷口裕也会長に目録を手渡す
櫻井宏会長(左) 岐阜市宇佐南J A会館